

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）
Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2021年12月16日(木)
NO. 1230号
本号3頁

憲法公布 75 年記念 秋の憲法講座 — 憲法 9 条改憲阻止、今こそ、憲法を生かした政治を! —

○開会あいさつ 金子勝立正大学名誉教授

○講座・講演 渡辺 治 一橋大学名誉教授



「総選挙後の改憲をめぐる情勢と改憲阻止のたたかい」

浜 矩子 同志社大学名誉教授



「総選挙後の経済運営～あるべき姿と恐るべき姿～」

○国会情勢報告 塩川鉄也 日本共産党衆院議員・国会対策委員長代理

とき 2021年12月19日(日) 午前9時30分～13時

ところ アルカディア市ヶ谷 千代田区九段北4-2-25 TEL03-3261-9921

JR・有楽町線・南北線市ヶ谷駅から徒歩2分

ZOOMによる参加、Youtubeでの視聴について

会場参加者100名限定で開催します。すでに100名となりましたので、会場参加は締め切りました。そのため、次のように対応し、多くの方にご視聴いただくようにします。

①zoom ミーティングで 300 名までご参加できるようにします。

ミーティング ID: 894 9562 2487

パスコード: 20211219

URL <https://us06web.zoom.us/j/89495622487?pwd=dkcrVVFLeEZqUVhqe1FBYndEOW9Fdz09>

※この URL をメールで送付して欲しい方は、下記の連絡先の E メールでお伝えください。

②同時配信します。右の QR コードからご視聴ください。



なお、できるだけ当日の講師のレジメ・資料を憲法会議のホームページに掲載したいと考えています。

③さらに、終了後 YouTube にアップし、憲法会議ホームページのリンクから視聴できるようにします。

すでに、「ここから動画配信」とのリンクが設置されています。

◇これらは無料です。

なお、ご協力いただけるようでしたら、カンパをおくってください。また、憲法パンフレット(1冊100円)と憲法ポスター(1枚100円)の普及にご協力ください。

○カンパの送付先 中央労働金庫一ツ橋店 普通 7054130 憲法会議
郵便振替 00160-8-66110 憲法改悪阻止各界連絡会議

◆連絡先◆

憲法会議 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-32 金子ビル 103
Tel:03-3261-9007 FAX:03-3261-5453 Eメール: mail@kenpoukaigi.gr.jp

岸田政権の改憲策動はね返そう! 憲法共同センターが総会

憲法共同センター(戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター)は13日、第8回総会を、全労連会館で開催しました。岸田政権が軍事での日米一体化とあわせて改憲への動きを強めるなか、改憲策動をはね返し、憲法を守り生かす政治の実現をめざす方針を確認しました。

主催者あいさつした自由法曹団の吉田健一団長は「改憲論議を進め、発議を狙う動きを許してはならない」と指摘。「敵基地攻撃能力保有」など憲法破壊の策動を許さないたたかいを広げようと呼びかけました。

日本共産党の山添拓参院議員が国会情勢報告し、岸田首相の敵基地攻撃能力の保有の検討、国民民主党や維新の会が憲法審査会の与党側の幹事懇談会に出席するなど「軽視できない動きだ」と指摘。国民の世論と運動の力でこれまで審査会の開催、改憲論議を阻んできたと述べ、新しい全国署名の推進、参院選で改憲勢力3分の2を阻むため全力を尽くすと表明しました。

石川康弘・神戸女学院大学教授が「総選挙後の情勢と今後の展望」をテーマに記念講演しました。

竹下武・全労連常任幹事が方針提案を行い、「日米軍事同盟の強化、それと一体の日本の軍事大国化、他国の攻撃が可能な武器の保有などが進められている」と告発。来年の参院選で改憲派を少数に追い込み、発議させない状況をつくるため、新しい憲法署名を軸に改憲に反対するたたかいを呼びかけました。いのちとくらしを守り、ジェンダー平等や気候危機など幅広い世論・運動を広げながら、憲法を守り生かす世論と運動を広げることを強調しました。また、政治の転換をめざし、市民と野党の共闘の発展、自民党改憲4項目の危険を知らせる学習会、カフェなどを多彩に取り組み、街頭宣伝・署名行動を提起しました。

小田川義和・全労連顧問、米山淳子・新日本婦人の会会長、岸本啓介・全日本民医連事務局長を共同代表に再任しました。

各地からの報告では、埼玉の代表は、「総選挙で、地元の選挙区では反共攻撃には共同で反撃し、立憲民主党候補が勝利した」と報告。戦争法廃止などを求める「オール埼玉総行動」について連合埼玉も引き続き結集する方針であると語りました。大阪の代表は、日本維新の会が大阪では「反自民」を装い、「自公政権への批判が維新への支持となった」と指摘。「維新の大阪府政・市政のもとで進められた医療・教育の後退など維新の実態を広く知らせたい」と述べました。

新潟県憲法会議 成嶋隆議長の憲法学習会「今、なぜ『改憲』なのか」

－憲法会議への講師依頼が続く－

真珠湾攻撃から80年、不戦を誓う12.8集会として全国母親連鎖行動 in 新潟の憲法学習会が70名の参加で12月8日に開催され、成嶋議長が講演しました。

最初に総選挙結果に見る「改憲勢力」の伸長で引き続き改憲発議に必要な3分の2以上の議席が自公と補完勢力の維新で維持された事実と自民党と政府内の改憲の体制づくりが指摘されました。

「なぜ改憲が企図されるのか」と問い、「憲法は権力者にとって疎ましい存在」であること、自民党の「党是」としての改憲が歴史的事実に触れながら語られました。

自民党の「改憲4項目」の「自衛隊明記」の問題点については「憲法学者の自衛隊憲法違反説」を悪用しての安倍元首相の主張への反論が自衛隊の本音（海外の戦争への参加はいや）を明らかにして述べられました。

「緊急事態条項」の問題点については、「国会が機能不全に陥ってはならない」というのがコンセプトであり、野党の開催要求を与党が拒否した事実を指摘して、自民党の「国会」をめぐる「本末転倒」を厳しく批判しました。

最後に改憲に反対する私たちの課題として、「岸田政権の危険性を軽視するな」「来夏の参院選が重要」「改憲主張の見極めの必要性」・・・が提起されました。

憲法審査会への対応への質問に成嶋議長は「野党が共同して国民投票法の改正（TVCM等）の論議を」と訴えました。

（10日には新潟県医師連理事会での憲法学習会（成嶋議長講師）と憲法会議への講師依頼が続いています）



<新潟県憲法会議 酢山省三事務局長>

列車内の監視カメラ義務化検討？ フライバー保護上大問題

国土交通省が、列車内の監視カメラ義務化の検討をはじめると報じられています。この間の京王線の事件などを理由に一挙に監視カメラの列車内での設置をすすめようというのです。JR東日本の顔認証式カメラシステムの導入に続く、国土交通省のこの動きには注意しなくてはなりません。

この間の政府などの監視カメラを設置すれば、問題が解決するかどうかのとき説明、対応を認めることはできません。お客の安全に関して、判断は旅客機であれば機長、船であれば船長、列車であれば運転手・乗務員です。機長、船長、運転手などが、事件の際に状況をつかみ、判断できるシステムをどうつくるかこそが重要です。

この点を抜きに、ただただ監視カメラを義務化しようとする、政府、国土交通省の姿勢は厳しく批判されなくてはなりません。また、列車内は、駅構内などどはるかにこえるお客の密集度です。カメラに捉えられる乗客のプライバシー保護はどうなるのかという問題があります。

この問題を考えるうえで、日経の報道（添付）と、「2020.07.27 鉄道新聞 どのくらい映る？ 電車の蛍光灯が防犯カメラに その仕組みは？ 東急電鉄を取材が参考になります。

<https://tetsudo-shimbun.com/article/topic/entry-2821.html>」

各地のとくみ

兵庫 国民は、軍拡と戦争は望まない！ 新憲法署名、各地で一斉に取り組み開始

9条改憲NO！市民アクション赤穂実行委員会が12月8日午後4時から赤穂駅で憲法改悪ストップ全国署名の訴えを行いました。新調のハンドマイクの感度もよく、署名も中高生などが応じてくれました。

兵庫区憲法共同センターは、新署名用紙を持って本気の全戸訪問を決意、既に141筆集めました。いま中央憲法会議の「憲法赤ちゃんポスター」も大量に注文し区内で目立つように貼りだそうと頑張っています。西区玉津9条の会から、50筆の新署名が共同センターに届きました。

12月度当センター幹事団体会議は、「9条改憲は危険な新局面」＝「新憲法署名」で共同し打開しようの提起で討議し、兵庫憲法共同センターとして2022年5月3日の節までに、50万筆達成の目標を決め、各構成団体や多くの「9条の会」にも積極的な目標を掲げていただくようお願いしました。